

広報

ひたち おおた

令和2(2020)年

9月号

No.706
かなさ笑楽校

広報
ひたちおおたが
WEBでも読める



Wonderful! Playful! 常陸太田で遊ぼう! かなさ笑楽校



特集

夢を育む 常陸太田の教育

～小中連携・一貫教育、外国語教育～

おめでとうございます P4

TOPICS P5

えんじたちのスマイル P23



かなさ笑楽校

カナサショウガッコウ



私たちが体験しました!



どこかへお出かけしたい!うずうずしているなら、市内で「学校お泊まり」体験をしてみませんか?金砂ふるさと体験交流施設かなさ笑楽校では、在りし日の懐かしい学び舎でいろんなアクティビティを楽しむことができます。大人も子どももみんな全力で遊べるワクワクドキドキの施設を体験してきました!

かなさ笑楽校は、平成20年3月に閉校した旧金砂小学校を改修し、体験交流施設として平成24年にオープンしました。周囲を豊かな自然に囲まれたのどかな農村地域でさまざまな体験を楽しめる、数多くの方に利用されています。家族や友人と過ごしたり、サークルの合宿や企業の研修会、懐かしい仲間との同窓会など活用法はアイデア次第。今回は、3人で女子会を楽しします!

3階建ての校舎や体育館、校庭の外観はかつての面影を残したまま。懐かしい昇降口で靴を脱いで踏み入れば、すっかり童心に返ってしまうはず。各部屋は、宿泊室や多目的室、

浴室など機能的に改修されていますが、当時の机や椅子、掲示物や備品などそこかしこに金砂小学校の歴史が息づいています。

かなさ笑楽校では、心と身体を豊かにしてくれる数多くの体験メニューが用意されています。そば打ち、豆腐づくり、石釜ピザ焼き、かまど焼きご飯、竹細工づくりなど……中でも人気の体験はそば打ちです。地元のお母さんが優しく丁寧に指導してくれるので、初心者でも心配はいりません。粉をふるい、水と合わせてこね、伸ばし、切り、茹でる。簡単そうに見えて、手間もコツも必要です。完成した

打ちたての蕎麦でランチタイム。格

そば打ち体験



別の美味しいです!

スポーツ体験も充実!食後はヨガとボルダリングで身体を動かします。身体を整えるだけでなく、心の緊張をほぐして深くリラックスさせてくれる効果があるヨガ。窓の外に緑いっぱいの自然豊かな景観を臨むかなさ笑楽校のロケーションはヨガに最適です。体育館に設置されたボルダリングは、子どもから大人までゲーム感覚で楽しみながら身体を鍛えることができる人気。

同じ色でマーキングされた「ホールド」と呼ばれるさまざまな形の石をたどってつぺんを目指します。広々とした体育館を活用して、いろいろな企画をするのも楽しそうです。

ヨガ



心地よい疲労感に包まれつつ、のんびり読書をしながらティーブレイク。3階の図書室は、本を読みながらコーヒー やフレーバーティーを楽しめるブックカフェに変身しました。角が丸くなつた絵本や図鑑は、きっとこれまでたくさんの児童たちに読まれてきたのでしょうか。穏やかで居心地の良い空間です。

本日の夕食はバーベキューです。火を囲んで皆でわいわい食べる食事はいつでも嬉しいもの。予約をしておけば食材は全て用意してくれるのでもうちんちんです！他にも、カレーライスやけんちゃん汁の白炊セット、お

BBQ



弁当なども注文できます。また、音楽室でぎやかにパーティースタ

イルもオススメ。カラオケあり、eスポーツ設備ありとこちらもさまざまな用途で利用可能。夕食後は、宿泊室でまつたり。3階に完成したばかりの2段ベッドの和洋室は、最大12人で宿泊できる広さ。好きな

飲み物やお菓子を持ち込んで、パジャマパーティーも楽しいですね。

晴れた日には、ぜひ夜空も見上げてみてください。満天の星空を眺めながら、心行くまでおしゃべりを楽しんで。かなさ笑楽校でパワー チャージして、明日からまた前向きに元気に過ごしましよう！

ボルダリング



宿泊室
大人2,100円～、小人1,050円～(料金は宿泊室、プランにより異なります)、未就学児無料
＊その他施設利用料や体験費用、食事メニュー等詳細はホームページをご覧ください

INFORMATION

金沙ふるさと体験交流施設 かなさ笑楽校

◆料金：宿泊…利用は4名1室より

大人2,100円～、小人1,050円～(料金は宿泊室、プランにより異なります)、未就学児無料

＊その他施設利用料や体験費用、食事メニュー等詳細はホームページをご覧ください

◆予約方法：宿泊…6ヶ月前の1日から、利用日7日前までに申込み

臼帰り体験…3ヶ月前の同日から、利用日7日前までに申込み

◆問：かなさ笑楽校(76-9899(午前9時～午後5時)、kanasahurusato@gmail.com)

下宮河内町820 *火曜日休校(祝祭日の場合は翌日)、年末年始(12/30～1/3)は営業します!



わざわざ足を運びたくなる素敵な施設、とっておきの体験を用意して皆さんを待っています！



かなさ笑楽校校長 前嶋幸恵さん
(NPO法人BodyProducts代表理事)



おめでとうございます

道路里親および道路功労者の 表彰、道路里親の新規認定

8月20日、県常陸太田工事事務所で道道路里親の県知事表彰状伝達式と、道路功労者への(公社)日本道路協会の表彰状伝達式が行われました。道路里親団体の天神林道路愛護会(代表土田惣一さん)と道路功労者の石井さち子さんに表彰状が贈られました。道路里親団体とは、県から認定を受け、道路の清掃・除草、花壇の手入れ等の道路美化活動を行っている団体で、天神林道路愛護会は平成28年から活動し、その功績が認められ表彰されました。

また、道路功労者の石井さんは、33年間にわたり道路情報モニターとして折橋町地内の国道461号の道路のパトロールや、道路や水路の空き缶・枝等の撤去清掃などの活動を月2回以上実施し、道路の安全・愛護に大いに寄与した功績が認められ表彰されました。

あわせて、道路里親の認定証交付式

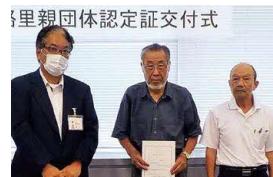


天神林道路愛護会

- ◆問..県常陸太田工事事務所では、道路里親団体を随時募集しています。
3362)
- が行われ、次の4団体が新たに道路里親団体となり、市内では26団体が活動することになりました。
- ・高倉地区道路愛護会(代表井上清さん)
 - ・下宮の道路を守り隊(代表大谷清さん)
 - ・願掛けあじさい(代表小川宣夫さん)
 - ・おおたネットワーク(代表瀬谷幸枝さん)
- *県常陸太田工事事務所では、道路里親団体を随時募集しています。



願掛けあじさい



高倉地区道路愛護会



おおたネットワーク

F C バンディエラ常陸太田が フットサルの県大会で準優勝

8月8・9日に行われた、JFA第26回全日本U-15フットサル選手権大会茨城県大会でF C バンディエラ常陸太田が準優勝に輝きました。同チームは市内の児童生徒を中心構成されたチームです。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、無観客での試合となりましたが、選手たちは暑さに負けずプレーしていました。





ぶどうと梨の品質検討会

8月4日、JA常陸の常陸太田ぶどう部会によるハウス栽培のぶどうの出来栄えを見る品質検討会が開かれ、重さ、粒数、色、糖度などのチェックが行われました。また、8月7日には同常陸太田梨部会による梨の田撒会も行われました。おこしく仕上がった常陸太田のぶどうと梨を、皆さんむせびに貰味ください。



ドライブインシアターを開催

8月8・9日に山吹運動公園駐車場でドライブインシアターを開催しました。ドライブインシアターとは、車の中で映画を鑑賞することです。ソーシャルディスタンスを保ちながら映画を楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行など家族での外出等が自粛されていく中、市内の子どもたちに夏の思い出を作つてもうため開催し、2日間で118組の親子が参加しました。映画の上映前にはeスポーツ大会も開催。家族で楽しいひと時を過ごしました。



新型コロナウイルス禍での避難所開設・運営訓練を実施

市では、避難所を担当する職員を対象に新型コロナウイルス禍での災害に備え、避難所開設運営訓練を行いました。発熱者・体調不良者のためのダンボール間仕切りや検温装置などの資機材の取り扱い方と避難者の受け入れ手順を確認しました。

*新型コロナウイルス禍での避難について、広報ひたちおおた6・7月号をご覧ください。

令和元年度分 人事行政の運営状況のお知らせ

人事行政の公平性と透明性を高めるため「市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」の規定により、令和元年度の人事行政等の運営等の状況のうち、主なものについて公表します。

① 職員の任免および職員数に関する状況

◇採用者数(H31.4.2～R2.4.1)

区分	試験採用	再任用	計
一般行政職	5人	9人	14人
消防職	1人	0人	1人
技能労務職	0人	2人	2人
計	6人	11人	17人

◇退職者数(H31.4.1～R2.3.31)

区分	定年	勧奨	再任用満了	普通	死亡	計
一般行政職	17人	1人	2人	4人	0人	24人
消防職	0人	0人	0人	0人	0人	0人
技能労務職	2人	0人	0人	1人	0人	3人
計	19人	1人	2人	5人	0人	27人

◇職員数の状況

区分	H31.4.1	R2.4.1	対前年増減
一般行政部門	361人	354人	△7人
教育部門	82人	81人	△1人
消防部門	88人	87人	△1人
公営企業等会計部門	55人	54人	△1人
計	586人	576人	△10人

② 人事評価の状況

地方公務員法第23条の2第1項に基づき、能力および業績を評価し、任用、給与その他の人事管理の基礎資料とする。

◇能力評価 職務遂行の過程において発揮された職員の能力を客観的に評価する。

◇業績評価 業務目標の達成度により、その業務上の業績を客観的に評価する。

◇評価期間 4月1日～翌年3月31日

③ 職員の給与の状況(R2.4.1現在)

◇一般行政職の給与の状況

初任給	平均給料月額	平均年齢	期末・勤勉手当
大卒 182,200円	318,300円	43.7歳	期末手当 勤勉手当 6ヶ月 1.30月分 0.95月分 12ヶ月 1.30月分 0.95月分 計 2.60月分 1.90月分
高卒 150,600円			

◇特別職の報酬等の状況(R2.4.1現在)

区分	給料・報酬の月額	期末手当
市長	給料	6ヶ月期 1.70月 12ヶ月期 1.70月 計 3.40月
副市長		
教育長		
議長	報酬	460,000円 415,000円 395,000円
副議長		
議員		

*()内は平成18年から5%の減額措置後の額

④ 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

◇勤務時間(R2.4.1現在)

○午前8時30分から午後5時15分まで

○休憩時間 正午から午後1時まで

*特別の勤務(保育所等)に従事する職員の場合は異なる。

◇休暇(R2.4.1現在)

年次休暇	・1月1日在職する職員に対して、1年につき20日 ・年の途中において新たに職員となる者は、当該年における在職期間に応じた日数(例:4月1日採用者は15日)
療養休暇	・職員が負傷または疾病のため療養する必要があり、その勤務しないことがやむを得ないと認められる場合 ・90日以内において必要最小限の期間
特別休暇	・選挙権の行使、結婚、出産、交通事故の事故その他の特別の事由により職員が勤務しないことが相当である場合として、市規則で定める場合に必要と認められる期間
介護休暇	・配偶者、父母、子等の生計を一にする親族を、負傷、疾病または老齢により2週間以上の期間にわたり介護する職員に対し、6ヵ月を限度に付与(無給)

⑤ 職員の分限処分および懲戒処分の状況(令和元年度)

分限処分……11件 懲戒処分……0件

⑥ 職員の服務の状況

育児休業の取得者数……8人(令和元年度の新規取得者)

部分休業の取得者数……2人(令和元年度の新規取得者)

⑦ 職員の研修の状況(令和元年度)

区分	研修内容	延人員
階層別研修	市町村アカデミー研修、茨城県自治研修所の階層別研修、新規採用職員研修(庁内研修)	67人
実務・教養研修	茨城県自治研修所の階層別研修以外の研修、メンタルヘルス研修、ビジネスマナー研修会等	272人
派遣研修	総務省実務研修、茨城県実務研修、民間派遣研修	7人
自主教育	通信教育19講座	33人
合計		379人

⑧ 職員の福祉および利益の保護の状況

福利厚生制度

◇茨城県市町村職員共済組合

主な事業	事業の内容
短期給付事業	組合員とその家族の病気・出産・災害等に対し必要な給付を行う
長期給付事業	組合員の退職・障害・死亡に対して年金または一時金の給付を行う
福祉事業	健康の保持増進事業や保養施設の運営、住宅資金の貸付等を行う

*保育教諭および幼稚園教諭は、公立学校共済組合の組合員となっています。

◇常陸太田市職員共済会

主な事業	事業の内容
給付事業	各種見舞金、祝金、弔慰金等の給付を行う
福利厚生事業	職員レクリエーションの実施 人間ドック助成、自主活動(資格取得等)助成を行う

◇その他

主な事業	事業の内容
職員の健康診断	定期健康診断・各種がん検診
メンタルヘルスケア	ストレスチェックや心の健康相談等の実施、講習会を開催

公務災害補償の状況(令和元年度)

項目	認定件数
公務災害	1件
通勤災害	0件

公平委員会の業務の状況(令和元年度)

勤務時間その他勤務条件に関する措置の要求および不利益処分に関する不服申立てはありませんでした。



夢を育む 常陸太田の教育

～小中連携・一貫教育、外国語教育～



本市では、平成29年度からの行政運営における最も重要な指針「常陸太田市第6次総合計画」において、基本目標のひとつとして「夢を育み健やかに生きるひとづくり」を掲げています。これは、未来を担う子どもたちが将来の夢と郷土への誇りをもち、健やかにたくましく育つ環境を整えるとともに、地域が一体となって、一人ひとりが個性や能力を発揮し活躍できる環境づくりを進めることで、心身ともに健やかで心豊かなひとづくりを推進するものです。

この目標を実現するために、市内各小・中学校ではさまざまな取り組みがされています。その中でも、今回は「小中連携教育、小中一貫教育」を実践している水府小・中学校と里美小・中学校の取り組みを紹介します。また、令和2年度から本格的にスタートした小学生の外国語教育についてもお知らせします。保護者はもちろん、地域みんなで児童生徒たち一人ひとりの素敵な「夢」を育んでゆきましょう。



TIPS 小中連携教育、小中一貫教育とは…

小中連携

小・中学校が互いに情報交換、交流することを通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指すさまざまな教育。

小中 一貫教育

小中連携のうち、小・中学校が9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づき行う系統的な教育。

*文部科学省ホームページより引用

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1325901.htm

「小中連携教育」、「小中一貫教育」とともに、多様な教職員や児童生徒と関わる機会を増やすことで、小学生が中学校進学に対する不安感を軽減することや、中学生が小学生との交流を通じ、上級生であることを自覚し自他を大切にする心を育成することなどを目的としています。本市においては水府小・中学校が小中一貫校として、里美小・中学校が小中連携校としてそれぞれの学校や地域の特色を生かした教育活動を実践しています。



Report!

水府小・中学校の取り組み

ふるさと水府を愛し、夢に向かい自ら未来を拓く
心豊かな児童生徒を育てる

長い登り坂を上がった高台にある水府小・中学校。平成30年度より小中一貫校として新たなスタートを切りました。今年度からは、完成したばかりの新校舎で小・中学生計147名が共に充実した生活を送っています。水府小・中学校の大きな特徴として、小1～小4までを前期、小5～中1までを中期、中2～中3を後期とした「4・3・2」のブロック制を取り入れ、9年間を通じた系統的・継続的な教育活動を進めていることが挙げられます。「9年間」という期間は、児童生徒だけでなく教師、保護者にとっても大変長い期間です。その大切な9年間で、どのように子どもたちを育していくか。学習面だけでなく、心身の成長面も含めた総合的なカリキュラムを考えています



と、中学校教頭の檜山先生は言います。「4・3・2制の良いところは、児童（小1～小4）から過渡期（小5～中1）を経て青年（中2～中3）へ成長する、子どものデリケートな発達段階に合わせた自然な形であることです。特に大きな隔たりがある小1から中1への接続で戸惑うこともなく、生徒たちの不安やギャップを取り除くことが出来ます」。

また、一貫校は児童生徒だけではなく教員側にも大きなメリットがあるそうです。本校の教員は小・中学校を兼務しており、中学校的教員が小学校の授業をすることも。「例

えば、本校では小学4年生以上の外國語、音楽、図工の授業に中学校の先生が入っています。教科書に沿った内容はもちろん、中学校卒業時点できれぐらいの内容を身に付けてきてほしい、という明確な将来図を描いて教えられることは大きな利点。それから、一人が全教科を教える学級担任制の中学校教師、対して教科担任制の中学校教師それがお互いの良いところを学び合えるのもいいところですね」。水府小・中学校では、子どもと子ども、子どもと先生、そして先生間のギャップも埋められる環境が実現しています。

ゲストティーチャーとして招いた地域の方から町田焼を学びます。



簡単な英語でコミュニケーションするイングリッシュチャレンジーの様子。

小5・6の外國語授業。担任に加え中学英語教師、ALTが授業をサポート。



小学生と一緒に過ごすことでたくさんの刺激を受けています。例えば、合同行事では、自分たちだけではなく小学生と一緒に成功させるために、小学生も分かりやすいよう考へて説明します。特に印象に残っているのは体育祭です。小学生と合同種目の「ダンス」では、中学生は恥ずかしそうに踊る人も多い中で無邪気に大きく踊る小学生の姿に、つづきも「楽しく踊ろう！」という気持ちになりました。クラスごとのオリジナルパフォーマンスでは、中學生の良いところを小学生に見せることが出来て良かったです。

令和2年度
水府中学校生徒会長
中島賀人さん



挨拶など、周りに
良い影響を与える
インフルエンサーにな
りたい。 中島賀人



里美小・中学校の取り組み

夢や志に挑戦し、未来を切り拓く人間力の育成
～9年間で育てる大きな夢～



県北地区で初の「小中連携校」となり7年目を迎えた里美小・中学校。小・中学校が同じ建物内にある施設併設型で、全児童生徒122名の学校です。「小・中の児童生徒が共に生活すること」で、子どもたちの活発な関わりが生まれ、中学校進学時の不安感やつまづきの解消にも繋がっています」と萩谷校長は言います。里美小・中学校は、教員が小学校と中学校の兼務をしており、中学校教員の専門性を生かした小学校への乗り入れ授業や小・中学校合同の学校行事、縦割り班活動や、小6で部活動を体験する機会を設けるなど、小学生と中学生の交流を綿密

に行っています。特筆したいのが、小学校の朝の時間を利用してボランティアが定期的に開催している本の読み聞かせ。年間数回、中学生の図書委員が一緒に参加して小學生に読み聞かせを行っています。自分たちで念入りに準備を重ねて披露する内容は大人にも受け取らないと先生方も太鼓判。中学生にとっては、小学生に対して成果を発表することで成長出来る場。小学生は、その姿を見て中学生に対し具体的なイメージが湧く。両者に良い影響を与える素晴らしいアイデアです。

また、先生同士がすぐに情報共有できることは、一つの職員室を共同で使用する利点だそう。ほかに、里美小・中ならではの特色として、こども園も隣接していることが挙げられます。未就学児が義務教育へ進む際の段差の解消にも繋がられる環境です。

地域との密接な関わりも同校の特色。体育祭や文化祭では地域の方々と一緒に活動し、生活科、総合的な学習の時間には里美地区をフィールドにした体験的な学習（里美学）を9年間にわたり取り組んでいます。「里美の自然、文化、歴史、福祉、職場体験など、地域との関わりを通して学習は、とても有意義なものですが、地域なくしては存在しない、地域と共にあらゆる学校です」と萩谷校長。そんな温かな地域柄が、先輩後輩の垣根なく全校とも仲が良いのだとか。9年間を通して、主体的で豊かな学びを進め、地域を大切にする心の育成と自分の生き方を考える力の育成に努めている里美小・中学校。「里美の子どもたちの夢や志を大事に大事に育てながら、将来活躍できる力を身に付けられる場でありたいです」と萩谷校長は笑顔で締めくくってくれました。

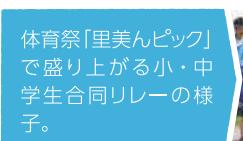
図書委員会の中学生による読み聞かせの様子。小学生も聞き入っています。



小学校と中学校の連携で良しなと思うことは、図書委員の読み聞かせです。委員のみんなが休み時間に準備を一生懸命頑張っている姿から、読み聞かせを本当に楽しみにしているのが伝わってきます。それから、運動会では毎年終盤に小学生から中学生まで全員でリレーをするのですが、それがとても盛り上がります！地域の人も見に来て、みんなで応援します。みんなすごく仲が良くて、休み時間も小学生と中学生が一緒に遊んでいたり、先輩後輩があんまりない雰囲気ですね。

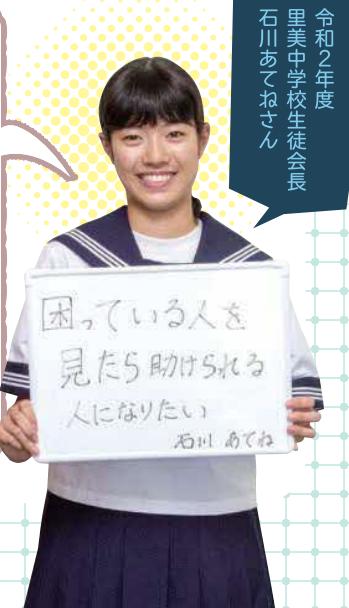


地域のゲストティーチャーと一緒に「里川カボチャ」を植える小学校3年生。



体育祭「里美んピック」で盛り上がる小・中学生合同リレーの様子。

令和2年度
里美中学校生徒会長
石川あてねさん





小学生の外国語教育について

令和2年度から、小学校で外国語（英語）の授業が本格的に始まりました。これまで、小学5・6年生が毎週1時間実施してきた外国語活動（英語で聞いたり話したりする活動）が、小学3・4年に移行し、小学5・6年生では新たな教科として外国語（英語）の授業が毎週2時間実施されるようになりました。

5・6年生には教科書が配られ、これまでの話す・聞く活動の他に、書いたり読んだりする学習活動も行われています。

市では、小学生の外国語教育を支援するために、小学校に3名の外国語指導助手（ALT）の追加派遣、小学5・6年生も対象とする英検受験の助成、英語に慣れ親しむための動画作成を行っています。これらの取組みとあわせ、小学校の授業の様子をお知らせします。



- 市立小・中学校で団体受験の場合…受験した小・中学校
- ・その他の小・中学校および塾等での受験の場合…指導室（郵送可）



申請書・請求書の
ダウンロードはこちら

市英語検定助成事業を 小学5・6年生にも拡充しました

児童生徒の英語力向上や学習意欲の向上のため、英語検定料の一部を助成します。

◆**対象となる英語検定**：（公財）日本英語検定協会が実施する実用英語検定

*令和2年度のみ対象となります。

◆対象者

- 市内の小学校または中学校に在籍する児童生徒の保護者
- ・市内在住の小学生および中学生の保護者
- ・小学生については5・6年生に限ります。

◆**助成額**：1千円（児童生徒1人につき1年度あたり1回）

◆**申請期限**：令和3年3月1日（月）

◆**申請方法**：申請書と請求書に必要事項を記入・押印（スタンプ印不可）の上、次のいずれかを申請書の裏にのり付けし、申請してください。

・受験票の写し（準会場（学校等）で受験する場合は、「英検準会場専用申込み確認票」の写し）

・検定料の支払いを証する書類の写し（銀行、コンビニ等の収納印があるもの）

・英検の検定結果通知の写し

*申請書、請求書は、市立小・中学校、教育委員会にあります。また、市ホームページからダウンロードして利用するのも可能です。

◆申込先

- 市立小・中学校で団体受験の場合…受験した小・中学校
- ・その他の小・中学校および塾等での受験の場合…指導室（郵送可）



えいごで はなそー！

市教育委員会では、小学生向けに簡単な英会話を学べる動画を作成し、市の公式ユーチューブチャンネルで公開しています。市内小学校の先生方と、ALTの先生方と一緒に作成した楽しい動画になっています。



動画はこちら





先生と小学校の授業をご紹介します

ALTと楽しく英語の授業

アメリカ出身



マーガレット
Margaret先生

Hello
everyone!

ジャマイカ出身



ソフィア
Sophia先生

Let's
experience!

アメリカ出身



ロバート
Robert先生

Let's try!

English!

ロシア出身



ユリア
Yulia先生

Have fun
learning!

フィリピン出身



モニカ
Monica先生

フィリピン出身



コラリン
Coralin先生

今年度は、新方なALTの先生として、Coralin先生、Monica先生、Yulia先生の3名を小学校に派遣しました。

他に、昨年度からの継続の先生として、Margaret先生、Robert先生、Sophia先生の計6名が配置されています。

ALTの先生の「生き方英語」に触れながら、英語でのコミュニケーションを楽しみながら体験することで、

外国語をより身近に感じ、学習意欲が高まる効果が期待されています。

なお、Robert先生、Sophia先生は、小学校に加え中学校で授業を行っています。

今後、新方に2名の外国人の先生が追加配置される予定です。

*外国人の先生方の配置校は、年度の途中で替わることもあります。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、フェイスシールドを使って授業を行っています。

3年生

How are you?



担任の先生やYulia先生とじゃんけんをして、勝った児童から、自分の持っている国旗カードを見せ「国の名前」を英語で質問しあっています。

5年生

He can bake bread well.



モニターに映した映像と英語の歌詞を見ながら歌を活用して学びます。子どもたちは、Coralin先生と一緒に楽しそうに歌っていました。

6年生

Let's go to Italy.



Monica先生が、世界の有名な建物や食べ物について英語で子どもたちに説明しています。みんな真剣に聞いていました。

本市では、他の自治体に先駆け、少子化・人口減少対策に取り組み、平成27年12月に、「常陸太田市人口ビジョン」と「常陸太田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「持続可能な常陸太田市の実現」に向け、さまざまな施策を展開してきました。

そして、令和2年7月に、これまでの評価・検証で明らかとなった課題等を踏まえ、切れ目のない少子化・人口減少対策を推進するため、新たな人口ビジョンによる長期的展望と、令和2年度から令和6年度までの5年間の目標や施策の基本的方向・具体的な事業をまとめた「第2期常陸太田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(第2期総合戦略)を策定しました。



「常陸太田市人口ビジョン」における長期的展望として、令和42年に常住人口36,000人維持の実現に向け、令和2年において常住人口50,000人維持を目指していましたが、令和2年4月1日現在、目標を下回る48,320人となっています。

特に若い世代の未婚率が全国や茨城県平均と比較してかなり高く、1年間に生まれる子どもの数も減少傾向となっています。

また、20代の転出者数が多く、転入者よりも転出者が多い状況が続いている。このまま人口減少が続くと、令和42年には市の人口は18,009人になると推計され、人口の減少により、市民生活の活力の低下を招くばかりか、地域経済や財政にも大きな影響を及ぼしかねません。そこで、人口ビジョンの見直しを行い、「新たな人口の長期的展望」を定め、各種施策に取り組んでいきます。

●「新たな人口の長期的展望」を定めるにあたっての基本的視点 ●

視点1

結婚の推進・合計特殊出生率の上昇

現在、1.06(平成30年現在)の合計特殊出生率を令和17年に1.80、令和27年に2.07の達成を目標とし、令和27年以降は2.07の維持を図ります。

視点3

青年層のUIJターンと定住促進

高校・大学卒業後の年代(10代後半～20代前半)の就労の希望を実現できる雇用環境や快適な通勤環境を整え、UIJターンの促進と就職に伴う定住促進を図ります。

視点2

子育て世帯等の転入促進

子育て世代が、安心して妊娠・出産・子育てをすることができる社会環境を創出するとともに、雇用の場の創出や買い物環境を整備し、子育て世帯等の転入促進を図ります。

視点4

健康寿命の延伸

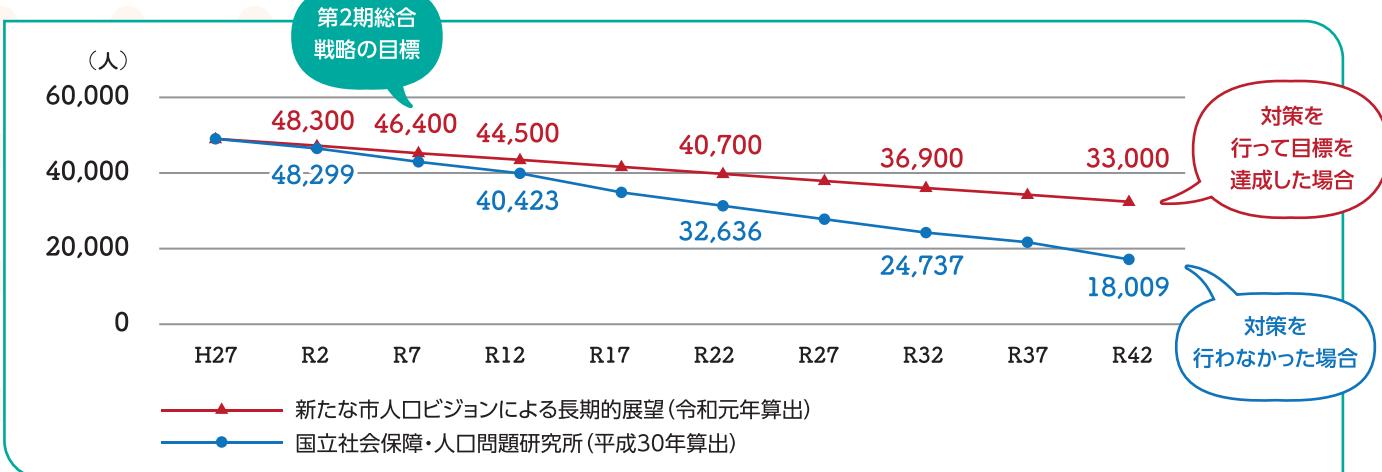
社会の活力の維持・向上を図りながら、高齢者をはじめとする意欲のある市民が役割を持って活躍できる地域社会を実現するため、健康寿命の延伸を目指します。

「新たな人口の長期的展望」

令和42年に常住人口33,000人維持



● 将来人口の推計 ●



● 第2期総合戦略における今後5カ年の施策目標 ●

【基本目標1】稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする	
施策	具体的な事業
新たな市街地開発の推進	東部地区開発促進事業
企業等の経営強化支援	中小企業ビジネスチャレンジ応援事業
起業・創業の促進	UIJターン者等起業・就職支援事業／ふるさと起業・創業支援事業
市内就業の拡大と人材育成	企業立地促進事業／市民新規雇用奨励金など
農業の生産力・販売力向上	販路拡大促進事業／チーズプロジェクト推進事業など
新規就農者の支援	担い手支援事業

【基本目標2】本市とのつながりを築き、本市への新しい人の流れをつくる	
施策	具体的な事業
居住環境整備等の推進による移住・定住促進	住宅取得等助成事業／新婚家庭家賃助成など
交流人口の拡大および関係人口の創出・拡大	プレミアム付旅行券発行事業／おもてなし推進事業など

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
施策	具体的な事業
結婚推進	結婚推進事業
安心して出産できる環境づくり	妊産婦医療費助成事業(市単独分)／乳児おむつ購入費助成など
安心して子育てできる環境づくり	乳幼児・小中学生・高校生相当医療費助成事業(市単独分)／安心子育て応援事業など

【基本目標4】ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	
施策	具体的な事業
安心して暮らせるまちづくりの推進	防災体制の整備／市道0139号線整備事業(医療施設等への移動時間短縮)など
便利で魅力的なまちづくりの推進	交通対策事業／東部地区開発促進事業
誰もが活躍できるまちづくりの推進	生涯学習講座等推進事業／エコミュージアム活動など



第2期総合戦略における目標

令和7年に常住人口46,400人維持

問 企画課(内線311)

